

## 夏期講習確認テスト講評(中1生)

### ●英語●

#### ・中1選抜東大英語(1EJSS)

まだ学校では習っていない範囲も含まれていたと思いますが、手応えはどうだったでしょうか。全体的にはよくできていましたが、大問【7】でやや差がついたようです。

大問【5】は並べ替え問題で、出題された単元が疑問詞、命令文というような特殊な語順の文法だったので失点した方が多くいました。こうした問題で得点するためにはたくさんの例文を覚えることが重要です。今回間違えた問題の英文はもちろんのこと、テキストや学校の教科書に載っている同じ文法が使われた文を暗記することで語順の感覚が身につきます。【7】は和文英訳の問題でした。復習の際には日本語と英語を丸暗記するのではなく、文の中のそれぞれの英単語が日本語訳のどの部分に該当するのかを確かめ、それぞれの単語の役割を意識しながら覚えていきましょう。

今回の試験範囲であった疑問詞、命令文、助動詞canはいずれも大変重要な文法項目です。きちんと復習して定着させておくことで、今後の学習をスムーズにすすめることができます。思ったより点数が良かった！という人も油断せず、しっかり復習に取り組んでください。それでは9月からもがんばっていきましょう。

#### ・中1英語B(1ETSB)

ほとんどの人は学校でまだ習っていない範囲を学習したため、難しいと感じたところも多かったのではないのでしょうか。2学期に向けて、もう一度全体を見直しておきましょう。

【1】は語彙に関する問題でした。発音と表記のギャップによりスペルミスをしている方が多くいました。まずは英語の発音の感覚を身に付けていきましょう。綴りと発音を正確に覚える意識で語彙学習していけばこの類のミスは減っていきます。語彙学習は「単語の意味が分かれば十分」と思われがちですが、綴りや発音を意識しない学習を続けると、リスニング、スピーキング、ライティングでつまづく原因になりますので、今の段階から習慣化することは非常に重要です。

【2】は文法の問題でした。比較的よくできていましたが、特に疑問詞が含まれる疑問文の語順については苦手とする人が多いので、正しく理解をして英文を覚えましょう。

【3】は和訳・英訳の問題でした。この問題で得点するためには、「品詞と語順」の感覚を身に付けることが重要です。英語は日本語と異なり、品詞によって単語の並ぶ順番が決まる、語順に厳格な言語です。暗記する例文のそれぞれの単語の品詞を理解したうえで暗記をするように心がけましょう。

## ●数学●

### ・中1選抜東大・医学部数学(1MJSS)

今回のテストでは、【1】文字式の計算、【2】1次方程式、【3】平面図形の応用、【4】空間図形の基礎、【5】1次方程式の文章題、【6】空間図形の応用、を出題しました。夏期講習の学習範囲は通常クラスの範囲と同じですが、選抜クラスである分、応用度の高い出題となっており、その分平均点も低くなっています。まず基本となる問題ができているかをチェックしてください。【1】【2】の(1)~(3)、【3】(1)、【4】(1)、【5】(1)、【6】(1)はできなければいけない問題です。

【1】【2】の計算問題では見通しを持った計算を心がけることが大切でした。これが無いとここで多く時間を使ってしまい、後の問題を解く時間が無くなってしまいます。

【3】(1)の(ウ)で過不足があり正解でなかった人は、問題文の条件の確認と共に、重複や漏れがないように数える方法について考えましょう。【3】(2)ではPを円の中心と決めつけてしまっている答案が多く見られました。自分が思い込みをしていないか？そうなる根拠は何か？を常に考える姿勢を身につけましょう。

【4】(2)では正二十面体は1つの頂点に5つの正三角形が集まっている、ということの理解が前提となっています。見た目で理解したつもりになるのではなく、きちんと数学的根拠に基づいて図形を把握するようにしてください。

【5】(2)はテキストにある問題そのままでしたが出来ていませんでした。復習でしっかり自分で問題を解くことをしましょう。

【6】(1)の切断面の図形を間違えた人はやはり数学的根拠を考えることを心がけましょう。(2)の体積は難問だったでしょう。三角錐に分割して考えるという見方を学んでください。

### ・中1数学(1MJS)

全体的によくできていました。間違えたところは復習し、同じミスを繰り返さないようにしましょう。

【2】は多くの答案が0点か満点か…と明暗が分かれました。文章を数式で表すために正しく状況を読み取ることがポイントで、所持金の流れについて表を書いて整理するなど、工夫することが大切です。

【3】【4】の平面図形・空間図形はよくできていましたが、【3】では不適切な答えもそのままにして減点されてしまった答案がありました。きちんと検討しましょう。

【5】では途中過程や考え方を記述させる問題でした。日頃から途中式や考え方をきちんと明記する習慣をつけましょう。

やや難易度の高い問題においても自分の言葉で説明できるようにすることを目標に、演習を積むと同時に記述のしかたについて指導を受けるようにしましょう。